

前回出口修さんは江戸時代の八幡で、柏村直篠(かしむらなおえだ 1661~1740)の関係した八幡八景の話をして下さいました。柏村家は代々森の町の相撲神人の家で、直篠は和歌や連歌にも精通していましたから、霊元上皇(天皇の時 200 年ぶりに放生会が復活)のもと歌会にも列席していました。元禄年間(1688~1704)に直篠は親王・公卿に依頼した石清水八幡宮周辺の和歌の選定をしました。その中の一つ「放生川 蛭」を。「なつかはもいけるをはなつほたるかな」(作・里村昌築)は「夏川も生けるを放つ蛭かな」と書くのだそうです。9月15日の神事放生会の時に生きた鳥や魚を解き放つことがうたわれているんですね。放生川は大谷川の一部で500メートル程です。徳川家康は放生川は神聖な川であるから川ざらえを丁寧なすることを八幡宮に命じたそうです。そのさらえたものは良い肥料であって、立派がゴボウができて、それから八幡ゴボウができたと言うことです。



(放生川)

- ① 日時 2025年9月26日(金)13時30分~
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館**/八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07  
5-983-3664  
(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。